

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・隣の商店街に新しいデパートが開店し、今までと違う客が若干増えた。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・テナントの売上状況、来客数から見れば、現在の景気が良いとは言えないが、売上の前年同月比で見ると98%程度で、2～3か月前よりやや戻りつつある。ただし個々のテナントで見ると、売上の状況はまちまちであり、以前に戻りつつあるという感覚も半々といったところである。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数の前年比が約4%改善した。客単価も前年並になり、改善傾向にある。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・近隣に大型ショッピングセンターがリニューアルオープンしたが、あまり影響はなかった。週末の土・日は平日の3倍の来客数で推移している。しかし、客単価の上昇はない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・主力商品であるスーツの販売着数が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・先月からNHK朝の連続テレビドラマ小説が始まり、今月になってその影響が現れ、観光そのものの大きな伸びはないが、日中の動きは若干好転している。しかし、夜の繁華街については、2～3か月前と同じく低迷している。
	通信会社（販売企画担当）	販売量の動き	・年末に向け、徐々に販売数が増加傾向にある。ただし前年比で見ると、厳しい状況に変わりはない。	
	変わらない	一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・最初から買物をする気度で来店する傾向が強く感じられる。以前は、ウィンドウショッピングなどで、何気なく見てついでに買うという客がいたが、最近は買物をするという意味の明確な人が、更に品物を選んで購入している。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・今月は、衣料品・服飾雑貨関係全て厳しい状況が続いていて、どのように数字を上げていくか頭を悩ます月であった。ただし、先週から開催された北海道物産展では、今まで当店で開催された北海道物産展のなかで、1日としては最高の売上を上げた。やはり、食に関することには客の財布のひもも緩いようで、どんなに高額な食材であっても、国産品・北海道産にはとびついている。また、限定品については、客は数時間並んででも手に入れようという状態であった。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・ここ半年以上ずっと、販売点数については前年比103～105%で推移している。来客数についても前年比102～103%で推移しており、先月と変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・エリア内の新規店の出店・増床等があり、売場は人が出てにぎわい、昨年と比較しても売上高は伸びている。若干の値上げの寄与も含めて、売上は良くなっている。
		その他専門店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・来客数がほぼ前年並みで推移している。
一般レストラン（経営者）		来客数の動き	・まだ原料等が安くなったことは実感できずにいるが、来客数に変化はなく、景気としては変わらない。	
その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）		来客数の動き	・来客数はまだ前年比マイナス10%程度で推移しており、回復傾向にはない。	
都市型ホテル（従業員）	販売量の動き	・レストランは、店舗ごとに売上の前年比がまちまちとなっており、宿泊も、団体予約は増加したものの、全体では前年並みとなった。		
都市型ホテル（総務担当）	お客様の様子	・外国人旅行者に関しては、円高ウォン安で韓国からの訪日が困難となった。また、他の諸外国も同様であり、キャンセルが相次いでいる。		
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・客との対面営業の印象では、騒がれているほど、購買姿勢に大きな変化はない。		

	テーマパーク (財務担当)	来客数の動き	・来客数は前年比を10%以上上回って推移しているが、景気の良さは感じない。来客数の増加は特殊要因によるものであるが、不景気感によりレジャーに対して近場で安くという考えが影響していることもある。
	テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・天候に恵まれたこともあり、なんとか例年並みとなった。
	競艇場(職員)	来客数の動き	・来客数及び売上金額が横ばいである。
やや悪く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・今月は特に来客数が大きく減少している。例年行われる商店街の交通量調査結果でも前年比30%減となった。
	商店街(代表者)	競争相手の様子	・最近連続テレビドラマ小説の影響からか、少しずつ観光客は増えている。しかし、物販店には良い影響が出ていない。
	一般小売店[紙類](経営者)	来客数の動き	・観光客の来客数が前月よりも減少した。
	一般小売店[酒類](経営者)	お客様の様子	・株価低下と実体経済への影響、円高による受注の減少などの情報がメディアを通して流れ、更に将来の雇用不安、収入減などの環境悪化が予想され、消費者の儉約節約指向が強まっている。店頭販売、飲食店等も低調な動きである。
	一般小売店[印章](営業担当)	来客数の動き	・会社設立のための印鑑・ゴム印関係も少なく、企業業績は落ち込んでおり、全体的な売上も昨年より悪くなっている。
	一般小売店(営業)	販売量の動き	・相変わらず消費者の財布のひもが固く、料飲店の売上が落ちており、特に焼肉屋の売上が目に見えて落ちている。また、地域外から大型の居酒屋が参入したり、回転寿司ができたことで、客の流れが大きく変わっている。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・羽織物の動きが悪く、カットソーなどのインナーしか動かず、客単価が低い。物産展を催しても、目当ての物しか買わず、常備売場へのシャワー効果はない。割引販売の日数増やカードの割引率上昇キャンペーンを実施しても効果がみられず、婦人服販売は非常に厳しい状況である。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・気温の影響などもあり、アウターやコートなどの売上が例年に比べ少なく、売上単価・買上率が下がり、売上は苦戦している。
	百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・物価の高騰や株価の低迷などのため、客の購買姿勢が慎重になっている。まとめ買いは少なく、割引品しか購入しないなど、価格に対して大変厳しい。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・10月10日までは前年比100%の売上をキープしていたが、後半に入り衣料品ではコート、ジャケットの動きが前年比70%で推移し、好調であった紳士服も前年を割れてきている。最近では来客数は前年比で100%を超えても、売上は前年比90%台が続き、今月も店全体の売上は、前年比95%となった。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・気温のせいもあるが、衣料関係では秋物、初冬物の動きが総じて悪く、洋品関係でも化粧品やハンカチなどの雑貨の動きが悪い。年金問題や株安など様々な社会的現象も財布のひもを締めている。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・催事の集客も悪く、買い控えが目立つ。
	百貨店(販売担当)	お客様の様子	・割引の特別招待会やセールを実施しても、まとめ買いは少なく、客の買い方が本当にシビアになっている。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・商品の値上げが続いたことなどにより、消費者は各社のチラシ価格に敏感に反応し、安い品の買い回り傾向が特に強くなっている。
スーパー(店長)	販売量の動き	・客が以前と比べ単価の安い商品に目を向けており、買上点数は伸びているが、従来の売価では売りにくくなっている。	
スーパー(店長)	来客数の動き	・店頭には冬物商材も並び、例年であれば来客数が増加してくる月であるにもかかわらず、来客数は前月比で90%、前年比で87%と非常に低調である。	
スーパー(店長)	お客様の様子	・朝一番から、前日の残り物の半額商品等、見切り品目当ての客が増えている。	

スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来店頻度は前年並みだが、1回当たりの買上点数が落ちており、必要最小限の物しか買わない。仕入原価が上がっているのに価格に転嫁できず、粗利が2%近く減少している。
スーパー（経理担当）	来客数の動き	・客の様子から見て、節約志向がかなり高まっている。
スーパー（経営企画）	来客数の動き	・10月21日現在、既存店の来客数の前年比は97.81%である。買上点数は98.41%で1品平均単価が103.02%と食料品の値上がり分が反映されている。また売上高の前年比は99.16%である。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・特売の玉子など、以前だったら一人一つと指定があれば何度でもレジに並んで買う客がいたが、最近では、価格にかかわらず、今必要な量しか買わない客が増えた。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・3～4か月前から、新しい道ができたためか、店の前を通る車の数が減ってきていて、それが来客数の減少につながっている。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・主力の弁当・惣菜の客単価が大幅に下がり、ペットボトルのお茶や飲料は、限定の特売品しか売れない。また、客が商品を選ぶのに時間がかかっている。必要な物しか購入しないという、客の思いが伝わってくる。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・タスポ効果で来客数自体は増加傾向にあるが、当社主力商品である、弁当などに関しては前年割れとなっている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・昨年と比較して気温が低下せず、10月後半以降、秋物の動きが大変悪くなっている。
衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月はレディースの動きは良いが、メンズの来客数自体が少ない。まだ暖かいため、ボトムは例年並みだが、上着の落ち込みが大きい。特にアウターの動きが昨年より遅いため、売上に響いている。
家電量販店（店長）	単価の動き	・AV機器、特にテレビは売上数量は確保できたが、単価は非常に安く、乱売状態である。昨年の2倍の台数売って、やっと売上金額が同じという状況である。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・客は安い商品を求めている。来客数自体はそれほど変わらないが、客単価が低下している。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・週末はまだ良いが、平日は来客数が少ない。接客をしても、1回や2回では、成約に結び付かない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・特に普通車クラスの販売台数が悪くなっており、前年比85%程度で推移している。買い控えの傾向は大きくなっている。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・10月の販売量は、前年比約90%と大変厳しい状況となっている。前々年と比較しても大きく落ち込み、段々厳しさが増している。
乗用車販売店（統括）	単価の動き	・経済の不安定感からかプラスアルファのオプションの売上が落ちているため、客単価が低下してきている。
自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・前月までと違い、来客数が前年比を上回る日が少ない。特に、土日祝日の来客数が落ち込んでいる。
その他専門店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・時計、宝飾、眼鏡という高額品を扱っているため、消費者の所得格差を感じる。現在のような不景気でも、購買力のある客はいるが、絶対数が少ない。
その他小売（営業担当）	単価の動き	・お土産が少量化しており、客単価も減少している。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・10月上旬はまずまずだったが、それ以降かなり来客数が減少している。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・先月から週末の来客が大きく落ち込んでいる。注文の単価自体は悪くないが、来客数が減った分、売上が大幅に減少している。
観光型ホテル（スタッフ）	それ以外	・円高により、外国人旅行者が激減している。
旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・今月は県知事選挙があり、旅行需要は冷え切っている。また前々月に県財政の赤字の現状が発表されたことで雰囲気落ち込んでおり、県内では旅行などはますます敬遠されている。
タクシー運転手	来客数の動き	・来客数の動きも悪く、当然売上も10%ほど減少している。

	タクシー運転手	来客数の動き	・今月はいろいろなイベントで人出はかなりあったが、多くの方は自家用車で来ており、タクシーの利用者は少ない。夜の利用客もあまり多くない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量の伸びが減少傾向である。
	通信会社（総務担当）	お客様の様子	・新メニューに対する予約状況を見ると、予想以上に反応が鈍い。ランニングコストの増加を敬遠する人が多いと思われる。
	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・景気が悪くなり、円高が進んだため、外国人来場者が減った。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・建築業界全体が動かない状況にある。
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・建築費の高騰や、景気の先行き不安から、建築計画を進めることを躊躇する顧客が多い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量、受注金額共に3割減となっている。
悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・最近では、特に客の様子や会話から、買い控えの雰囲気伝わってくる。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・昨今の経済事情の悪化等により、客の買い控えが大変多く見受けられる。今までは、安い単価で付加価値が高ければそれなりに好調であったが、今月は気候のせいもあるのか、安くて付加価値の高い商品も売れなくなっている。子供服の業界は、売れる要素がますますなくなっている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・当店は喫茶店であり、このところ、コーヒーを安くしている午前10時までは大変忙しくなったが、10時を過ぎると客足がぱたっと止まる。従来とはかなり変化している。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・食品を扱っているので比較的売上減は少ない方だが、先日の商店街の会合でも、元気のない話ばかりで、本当に深刻である。
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・買上点数及び客単価はほとんど変わらないが、1品単価が0.4%、来客数が1%くらい下っている。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・3か月前はタスポ効果があり、売上・来客数ともに伸びたが、現在はその効果が薄れている。タバコ以外の商品の売上はずっと前年割れを続けており、来客数も減少し、買上点数・販売量も減少している。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・ダイレクトメールによる案内に客の反応が一段と悪くなり、「今欲しいものがない」といった感じである。
	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・主力車種を投入したにもかかわらず、新規客に対する販売状況が非常に悪い。
	乗用車販売店（サービス担当）	販売量の動き	・利益の上がる高級車の新車は、ほとんど売れていない。コンパクトカーが主に出ているが、販売台数は前年より落ち込んでいる。
	住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・客が買い時を探っている感じがする。客が購入に至るまでの検討回数が、大幅に増えた。
	その他専門店〔布地〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比で30%くらい減少している。
	その他専門店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・出店競争に加え、業界全体の売上が縮小傾向にある。
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・客の来店頻度が、明らかに減ってきている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・株価や金融の問題もあり、客は外出することに億劫になっている。さらに飲酒運転のこともあり、飲み代よりタクシー代の方が高つく事もあって、皆儉約し外に飲みに出なくなった。
	観光型ホテル（経理総務担当）	販売量の動き	・忘年会の予約状況が悪い。例年であれば、この時期には満室になっている土曜日もまだ空きがあり、平日では前年の60%位の状況である。地元の中小企業では、まだ忘年会の気分ではない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ランチの利用人数が激減している。宿泊客の人数は横ばいであるが、客単価が低下している。	

		タクシー運転手	お客様の様子	・バブルがはじけた時以上に、客に不安が見受けられる。社会保障の不安や世界経済の不安など、今までになかった不安を客との会話で耳にする。売上も前年比4～5%減少して、我々タクシー運転手も不安でいっぱいである。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・販売量も関係するが、世界的な金融不安および景気の先行き不安などの精神的な要因もあり、景気が悪くなっているとしか見えない。
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・低価格競争になっている。価格を下げた店に客が集まるため、それに対抗するように他の店も価格を下げたり、キャンペーンをうったりしている。どんどん価格が下がる傾向が続き、このままで良いのか不安である。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客との会話で、仕事の見通しが立たないとか、先が見えないなどの話がよく出る。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・景気減速のニュースが流れ、収入の伸びが見越せないなか、客は消費に慎重になっている。
		住宅販売会社（経理担当）	来客数の動き	・例年秋は住宅購入を検討する客が増える時期であるが、今年は非常に少ない。また、客の購入意欲も低く、静観している感じが強い。住宅ローン減税等の景気対策が決まらなると消費者は結論を出さない。
企業 動向 関連	良くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・今月と3か月前を比較すると、沖合底引き網・大中型巻き網船・イカ釣り船が増加したため、水揚げ数量で1,480tの増加、水揚げ金額も5億700万円の大増収である。
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・生産資材等の高騰を踏まえ、全商品の値上げを決定し、値上げ前の駆け込み需要に伴い、売上が伸びた。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・各地の焼却炉受注の生産があり、生産水準も多少上向いた。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・この地区の建設ならびに関連企業は、本当に悪いまま推移している。大きな社宅の跡地に地元の食品スーパーが建設されているが、それも地元の建設に与える経済効果は全くなく、悪いまま継続している。
		輸送業（統括）	取引先の様子	・新規業務が増え、増収になったものの、景気回復の影響ではなく、企業が一部業務を外部委託したものであり、一方で既存顧客の撤退が増加している。
		輸送業（運送担当）	取引先の様子	・運送業者が原油価格の高騰のあおりを受け、発送量をおさえている。
		通信業（部門長）	それ以外	・金融不安で、円高が進んでおり、輸出に関連する企業では、支出削減についての社内の締め付けが強くなっている。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・主要受注先では、景気低迷から北米向けの輸出減少が顕著となり、これまで堅調だったアジア・欧州向け輸出も頭打ちとなり、受注は依然高水準ではあるものの、伸び悩み傾向となっている。
	やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・これまでは当社で負担してきた原料費上昇分が限界になり、販売価格を上げる交渉に入っている。さらに売上も利益も伸びていない。
		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高の影響を受け、利益が減少している。
鉄鋼業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・自動車やエレクトロニクス産業からの受注が、大きく減少している。金融不安も重なり、先行きも不透明である。	
金属製品製造業（総務担当）		取引先の様子	・得意先から値下げ要求がきた。これまで鉄原材料価格の上昇分を製品価格に転嫁してきたが、7月以降急激に下落しているため、致し方ない面もあるとは言え、収益面に与える影響は少ない。	
電気機械器具製造業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・米国向け自動車販売台数の減少が激しく、受注計画も大きく下振れしている。携帯関連も買換え需要の低迷が続いており、ますます悪くなっている。	
輸送用機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・アメリカ発の不景気で、主要の受注先である自動車産業が非常に悪くなり、受注量も落ちている。	
輸送用機械器具製造業（総務担当）		受注量や販売量の動き	・受注量・受注価格共に横ばいの状況であるが、原材料価格の高止まりや法定福利費や諸経費の負担増などのため、採算的には厳しい状態が続いている。	

	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・金融不安に伴う景気後退により、設備投資に対して企業が慎重になっている。
	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・今年度上期の法人向け通信サービス需要は低迷し、利用メニューの変更等が主体である。専用線など従来型高額サービスからVPN（仮想プライベートネットワーク）への乗換えはほぼ底をついており、新規需要の喚起も難しい。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・土木・建築関係について、相変わらず公共工事が全くない。民間工事もない状況で、水道関連で出た小さな工事に業者が群がっている。小売においては、イベントでの低価格品の販売は多いが、買物量・販売金額は伸びていない。財布のひもはますます固くなっている。
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数が減少している。
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・建設・不動産関係では大型倒産の影響もあって、どこも購買には慎重になっている。また、危険視される会社の情報もいろいろと飛び交っており、不安感を持っている経営者も少なくない。どの業種も売上に関しては極端な落ち込みはないものの、減少傾向は相変わらずで、原料費、燃料費の高騰により、諸経費の削減もままならない状況である。
悪くなっている	繊維工業（統括担当）	競争相手の様子	・最近、同業者での破産が出た。また他にも似たような厳しい状況が噂されるところもあり、全体的に大変厳しい環境にある。
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・少しでも経費を節減するため、取引の引渡し条件や、検収条件、代金支払方法など、取引形態の変更の申し入れが取引先からきている。
	その他サービス業〔建築物清掃業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・目に見えて受注量が減っている。
雇用関連	良く なっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
変わらない	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・事業内容、事業所数、人員数の見直しを行う企業数が前年度より多い傾向が続いているなど、景気が下向きの状況は変わらない。事業所に最近の業況を聞いたところ、9月以降受注量が落ちているため、設備投資も減少するのではないかと心配している企業がある一方、受注が1年先まで入っており、材料費の値上がり分も価格転嫁できたため、残業が増加している企業があるなど、企業、業種により景況感に差が見られる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・原油・資源価格は下降傾向であり、企業努力による人件費以外の経費節減等もあって、事業主の求人意欲の低下は、ほとんど見られない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・10月の依頼件数が激減した。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業からの求人情件数が、前年比60%台で、9月の前年比約80%と比べて大きく落ち込んだ。特に製造業での製造職の需要減少が目立つ。
	人材派遣会社（担当者）	周辺企業の様子	・訪問する企業での話を聞くと、大半の企業は、原価の高騰で利益が厳しい状況である。人員の削減まではしていないが、増員という話は全くない。
	求人情報誌製作会社（支店長）	採用者数の動き	・為替や貸し渋り懸念などで投資意欲が薄れ、採用を手控える企業が増えてきている。
	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・次年度の新卒採用計画について、予算減の方針を出した企業が出てきた。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・求人広告売上がここ数か月下降気味で、前年比では2～3割の落ち込みとなっている。行きつけの、結構はやっている飲み屋でも、常時6人はいた店員が、2週間前から4人に減らされた。客の減少が目立つための対応と、ママが嘆いていた。
	職業安定所（雇用開発担当）	周辺企業の様子	・事業所訪問を行い、景況等を聞き取り調査したところ、原材料高等により収益が落ちているが、販売数量等についてはさほど落ち込んでいないとする事業所が多かった。ただ、最近の金融混乱による影響が、数か月後には現れると懸念する事業所が数多くあった。

悪く なっている	民間職業紹介機 関（職員）	採用者数の動き	・求人ニーズの減少が前月同様続いている。1つのポ ジションに多数の希望者がひしめくケースが見受けら れるようになり、内定を得ることが難しくなってきて いる。また、就業未経験者の登録件数が増えてきた。
	民間職業紹介機 関（職員）	周辺企業の様子	・大手電機メーカーの一次下請け部品メーカーにおい て、数十名の派遣社員の契約打ち切りを実施した。最 悪の場合はゼロにするとの話も出ている。
	学校〔大学〕 （就職担当）	採用者数の動き	・次年度の求人、秋以降に求人を出してくる企業 が、前年に比較すると減少した。
	求人情報誌製作 会社（支社長）	周辺企業の様子	・大学・専門学校に対する、2010年卒向けの募集広報 費が減少している。
	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・求人はいずれの業種も減少傾向だが、特にサービ ス業と製造業の減少幅が大きい。また労働者派遣事業 者からの新規求人の減少が顕著であり、この要因とし て、景気の悪化により、労働力確保が不要となったた め、派遣離れが起こっている事があげられる。